

▼【金科玉條】…貴重な法律。金玉の如く立派な科條。揚雄の『劇秦美新』「金科玉條、神卦靈兆、古文畢發、炳煥照耀」。〔注〕善曰、金科玉條、謂法令也、言金玉貴之也」の用例が見える。

『漢語大詞典』では、「法律、法令」と説明する。

▼【金科玉條】の項で「同『金科玉律』」と説明し、『文選』揚雄「劇秦美新」「懿律嘉量、金科玉條」、「李善注」金科玉條、謂法令也、言金玉、貴之也」の一文を引く。

▼【金科玉律】の項では、「謂不可變更的法令或規則、後多比喻不可變更的信條」と説明し、杜光庭の「胡常侍修黃籙齋詞」の「金科玉律、雲篆瑤章、先萬法以垂文、具九流而拯世」の一文を引く。

○結 …しばる。くくる。

188 ○功 …てがら。功績。

○休 …やめる。事をやめる。とどまる。おしまいにする。（『新字源』）。

杜甫の「旅夜書懷詩」の「名豈文章著、官応老病休」の句の例がこれである。

○石柱…石の柱。古い墓道の前に立てたもの。石人。

▼「石人」・「石獸」陵墓前に並べた石づくりの人間像・獸像。石柱とともに並べられた。

『漢語大詞典』では、「石華表。亦泛指石頭柱子」と説明し、酈道元の『水經注』「粉水」に「粉水旁有文將軍冢墓、隧前有石虎、石柱、甚脩麗」の一文を引く。

○鑄 …はる。うがつ。彫りつける。

189 ○甲冑…「よろい」と「かぶと」

『易經』「説卦」に「離為甲冑」。「疏」為甲冑、取其剛在外也」の用例が、また『書經』「説命中」に